

井筒屋化学産業のSDGsへの挑戦

森林資源の保護と

人と人の繋がりを大切にする

持続可能な社会づくりを目指します。

井筒屋化学産業株式会社は、昭和24年(1949年)の創立以来、森林病害虫から大切な日本の森林を守ることを使命と考え、日々の研鑽を積み重ねてまいりました。森林保護用薬剤の分野において、特に松くい虫防除薬剤では、研究開発から製造・販売・メンテナンスまで行う総合メーカーとして、日本の「森林」と「緑」を守るための商品やサービスを提供してまいりました。

そしていま、未来に向けてSDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいます。

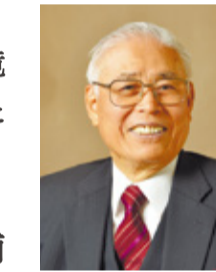
地球上の環境問題、社会問題、経済問題などさまざまな問題を放置して、環境の保護や人権の尊重などに取り組まず利益を追求し続けていると「持続可能な開発」ができなくなり、いずれ世界は行き詰るとの認識のもと、SDGsは地球を守るために達成しなければいけない国際公約として国連で採択されました。新型コロナウイルス等の感染症に立ち向かうための新しい生活様式を実現することはSDGsの大きな取り組みと言えます。

SDGs達成に向けては国や自治体、市民社会だけでなく企業の役割や責任が非常に重要といわれるなか、井筒屋化学産業は本年1月にSDGs推進委員会を設置し、役員及び社員によるSDGs推進計画策定会議を6回にわたって開催し3月に計画を策定したところです。今後は実施に向けたアクションプランを作成して全社挙げて取り組んでいきます。

私たちの本気

経営理念とSDGsの実現に向けて邁進します

弊社の経営理念は「環境維持のための、商品・サービスを開発・提供し」「従業員の心身ともに健全で豊かな生活を支え」「社会に貢献する会社であること」「そして利益はそれを実現・継続するために必要なものと心得る」です。この理念は、SDGsが示す「企業は利益と社会貢献の両立を求められており、株主や顧客、従業員さらに金融機関や投資家も企業に対し利益とともに社会問題の解決に寄与することを期待している」と完全に一致しています。弊社は「SDGsに取り組み本業を通じて企業の利益と社会貢献を両立させることが企業価値として評価される時代になっている」と確信いたしました。そこで、弊社は、本年1月より社外から専門家を招き改めて全員が全力でSDGsに取り組むことになりました。今後とも、本業である森林用保護剤の生産販売を通じて環境保全や人と人の繋がりを大切にする企業を目指し、進むこといたします。



代表取締役社長 小幡英輔

企業発展の根底は人権尊重やコンプライアンスです

人権尊重や法令遵守(コンプライアンス)は、単なるスローガンや負担というのではなく、社会や企業にとっての発展・成長に寄与するものです。コンプライアンスに基づき、差別されることがなく良好な職場環境を整備することは、企業で働く人達のウェルビーイング(幸福)を高め、より良い人材が集まることになり、顧客から満足を得ることのできる製品やサービスを提供することに結びつきます。人権尊重の下で性別や年齢、国籍等による差別がないことは、多様性(ダイバーシティ)を高め、企業の創造性と変化への適応性を高めることとなります。SDGsは、企業単独ではなく政府・行政、取引先企業、金融機関、民間諸団体が協調して課題解決するパートナーシップを要請しています。そこで弊社は、人権尊重、法令遵守、多様性、パートナーシップを発揮できるような企業統治(コーポレートガバナンス)・組織体制を作っていくことを宣言します。



社外取締役 ガバナンス/コンプライアンス担当 弁護士 由井照二

ESG投資を見すえて企業価値を高めていきます

今、環境というキーワードは私たちの経済活動を語る上で欠かせない存在となっています。特に近年、経済界の注目を集めているのがESG投資の概念です。これは、企業経営の持続可能性(Sustainability)を評価する際、財務数値に加え、環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)に対する企業の取組状況に着目し、企業価値を判断する投資手法であり、国連の持続可能な開発目標(SDGs)と併せて広く注目されています。企業は、人・環境という社会的資源の恩恵を享受して利益を得ている以上、それをいかに社会に還元し経済活動の基盤の維持を図っていくかが、企業の社会的責任として問われ始めています。ESGは企業の持続可能な成長のための源泉であり、企業価値の増大を決定づける重要な要因でもあるのです。森林資源を守り環境を保護する。得た利益を社会に還元し、企業も共に成長する。この循環を弊社の社会的使命と捉え、社員一丸となって今後も取り組んでまいります。



社外取締役 CSR/ESG担当 外資系金融機関兼務 小幡和子

SDGs「本気」実現計画を作りました

SDGs推進計画の作成にあたっては、SDGsの17のゴールに事業をはめ込むだけでは本気とは言えないとの共通認識を持つことから始まりました。経営理念を基本として「人権尊重と労働環境」「環境負荷軽減」「公正な事業慣行」「安全な製品と品質保証」「社会・地域貢献」「組織体制」の6つを自社の重要課題として設定し、そのうえで重要課題を解決するために必要な42の取組項目を洗い出す作業を行いました。その時点で17のゴールとの関連付けはするものの、最大の特徴は42項目実現のための107の具体的内容を作成したことです。この107個に取り組むことは直接的に自社の課題解決に取り組むことであり、達成することにより企業価値が高まることとなります。そして同時にSDGs達成に繋がっているというコンセプトの計画を作成しました。このたび作成したSDGs推進計画の実現のため役員と社員が一丸となって取り組んでまいります。



SDGsアドバイザー 行政書士 由井孝昌

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



井筒屋化学産業株式会社

本社 〒860-0072 熊本市西区花園1丁目11番30号 TEL 096-352-8121 FAX 096-353-5083